



多くの市民が足を運ぶ開会式

PACIFIC MUSIC FESTIVAL 2002

パシフィック・ミュージック・フェスティバル

7月6日(土)～27日(土)

夏の訪れとともに開催されるパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)。今年で13回目を迎えるPMFは、日本のクラシック音楽祭で最大の規模を誇ります。芸術監督を務めるのはシャルル・デュトワ。今年も言葉と文化の壁を超えて演奏される音楽が、札幌の街に響き渡ります。

プログラムの詳細は、区役所、市役所ロビー、地下街ふれあい広場などで配布中のチラシか、ホームページ<http://www.pmf.or.jp>をご覧ください。

世界の第一線で活躍する音楽家たちが競演

PMFは世界中から厳しいオーディションで選ばれた若手音楽家を育成するとともに、コンサートを通じて音楽文化の普及・発展を目指す国際教育音楽祭です。世界各国から優れた音楽家たちが集い、Kittaraや芸術の森を主な会場に、活気あふれる熱心な指導と多彩なコンサートが、

連日繰り広げられます。今回は、常に世界的な注目を集めているマルタ・アルゲリッチ(ピアノ)と、ジョシユア・ベル(バイオリン)が初参加。このほか、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者が弦楽四重奏、木管アンサンブルなどの演奏会に出演します。世界の第一線で活躍する音楽家たちの演奏を、ここ札幌で体感できる三週間です。

教育プログラムにコンポジション(作曲)コースを新設

優れた才能と可能性を秘めた、アカデミー生と呼ばれる約百十人の学生たち。アカデミー生は、この夏の期間だけ開講するPMFという「学校」に集まり、ウィーン・フィルの首席奏者をはじめとする世界一流の教授陣の指導を受けます。今年も練習を重ねていく中で、素晴らしい演奏



シャルル・デュトワの指揮で練習するウィーン・フィルの首席奏者と若手音楽家たち

を聞かせてくれるに違いありません。

今回新設したのが、アジアの若手作曲家に、創作と交流の機会を提供する『コンポジション(作曲)コース』。演奏家以外を対象としたプログラムは初めてで、PMFに新たな息吹を与えることでしよう。

PMFから平和への願いを世界に向けて発信

PMFのPは平和(Peace)をも意味し、音楽祭のもう一つの開催テーマとなっています。今年は札幌市が平和都市宣言をしてから十周年。芸術の森野外ステージで開催される恒例のピクニックコンサートは、この記念事業の一つとして位置付けられています。

平和への願いを音楽に乗せて世界へ。「世界平和を願う音楽祭」は、今年もたくさんのお届けします。皆さんも、ぜひ会場へお出掛けください。

【詳細】PMF組織委員会 ☎(520)2222

PMFの音楽に触れてみませんか

7月6日(土)には、芸術の森野外ステージで開会式が行われます。入場は無料。整理券は、6月3日(月)から区民センターなどで配布します。また、気軽に音楽を楽しんでもらうおうと、ウィーン・フィル教授陣からの贈り物として、7月14日(日)の午後7時から大通公園コンサートを開催します。入場は無料で、整理券も必要ありません。



大通公園西8丁目で開催される大通公園コンサート(昨年の様子)